



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月8日

上場会社名 フルテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6546 URL <http://www.fulltech1963.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古野 重幸
 社長執行役員
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 田中 康之 (TEL) (011)-222-3572
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月8日 配当支払開始予定日 平成30年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績 (平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	4,870	△1.1	175	△30.2	190	△48.3	113	△55.3
30年3月期第2四半期	4,923	—	251	—	368	—	254	—

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 111百万円(△59.2%) 30年3月期第2四半期 273百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	21.20	—
30年3月期第2四半期	47.42	—

(注) 1. 当社は平成29年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成30年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	9,128	5,703	62.5
30年3月期	9,644	5,683	58.9

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 5,703百万円 30年3月期 5,683百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	10.00	—	17.00	27.00
30年12月期	—	10.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	17.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想 (平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	—	450	—	460	—	280	—	52.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成30年12月期は決算期変更の経過期間となり、9ヶ月間(平成30年4月1日～平成30年12月31日)を対象とした変則決算となっております。このため、対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期2Q	5,367,800株	30年3月期	5,367,800株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	125株	30年3月期	125株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期2Q	5,367,675株	30年3月期2Q	5,367,800株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、個人消費の持ち直しがみられるなど緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、自然災害の相次ぐ発生による経済への影響や米中貿易摩擦の懸念材料もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況であります。

このような状況下、当社グループは、リニューアルのトータル受注の推進や新規物件の選別受注強化による収益性の向上、業務プロセスの見直しによる生産性向上等に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は4,870百万円（前年同四半期比1.1%減）となり、53百万円の減収となりました。これは主に、建具関連事業においてステンレスサッシが低調に推移したことによるものであります。

営業利益は175百万円（前年同四半期比30.2%減）となり、75百万円の減益となりました。これは主に、売上総利益が1,734百万円（前年同四半期比2.3%増）となった一方で、需要拡大に備えた積極的な採用や昇給率3.6%の給与引き上げの実施による人件費の増加により、販売費及び一般管理費が1,559百万円（前年同四半期比8.0%増）となったことによるものであります。

経常利益は190百万円（前年同四半期比48.3%減）となり、177百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は113百万円（前年同四半期比55.3%減）となり、140百万円の減益となりました。これは主に、前年は営業外収益に匿名組合投資利益104百万円の計上があったことによるものであります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 自動ドア関連

取替台数及び保守契約台数が堅調に増加し、売上高は3,440百万円（前年同四半期比1.7%増）となった一方で、前期以前に受注した大型物件に係る新規自動ドアの不採算工事の売上により、セグメント利益（営業利益）は814百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。

② 建具関連

足元の受注は前年並みに推移しているものの、当第2四半期連結累計期間における引渡物件が前年同期比で減少した結果、売上高は1,118百万円（前年同四半期比8.5%減）となり、セグメント損失（営業損失）は29百万円（前年同四半期は24百万円のセグメント損失（営業損失））となりました。

③ その他

売上高は311百万円（前年同四半期比2.4%減）となったものの、駐輪システム事業の不採算工事の減少により、セグメント利益（営業利益）は45百万円（前年同四半期比16.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は、9,128百万円となり、前連結会計年度末と比べ516百万円の減少となりました。これは受取手形及び売掛金が788百万円、電子記録債権が310百万円減少した一方で、仕掛品が276百万円、現金及び預金が258百万円増加したこと等によるものであります。

負債総額は、3,424百万円となり、前連結会計年度末と比べ536百万円の減少となりました。これは支払手形及び買掛金が443百万円、未払法人税等が56百万円、退職給付に係る負債が32百万円減少したこと等によるものであります。

純資産総額は、5,703百万円となり、前連結会計年度末と比べ20百万円の増加となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益113百万円の計上と配当金91百万円の支払によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、2,494百万円となり、前連結会計年度末に比べ258百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は428百万円（前年同四半期比7.9%増）となりました。

収入の主な内訳は、売上債権の減少額1,098百万円、税金等調整前四半期純利益187百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額443百万円、たな卸資産の増加額264百万円、法人税等の支払額118百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は36百万円（前年同四半期は208百万円の獲得）となりました。

支出の主な内訳は、固定資産の取得による支出21百万円、保険積立金の積立による支出14百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は132百万円（前年同四半期比37.9%減）となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額91百万円、長期借入金の返済による支出33百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間実績の平成30年12月期通期の業績予想に対する進捗率は、売上高62.4%、営業利益39.0%、経常利益41.4%、親会社株主に帰属する四半期純利益40.6%となっておりますが、下期はリニューアルの拡販による利益改善に努め、業績予想の達成を図ってまいります。

そのため、平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。今後の業績動向を踏まえ、業績予想に修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,254,799	2,513,659
受取手形及び売掛金	2,239,751	1,451,442
電子記録債権	534,099	223,810
仕掛品	862,120	1,138,286
原材料及び貯蔵品	179,600	168,224
その他	348,897	484,420
貸倒引当金	△6,104	△5,677
流動資産合計	6,413,163	5,974,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,066,153	1,032,360
土地	990,273	987,617
その他（純額）	140,843	119,401
有形固定資産合計	2,197,270	2,139,379
無形固定資産		
その他	130,977	109,752
無形固定資産合計	130,977	109,752
投資その他の資産		
その他	923,554	925,272
貸倒引当金	△20,181	△20,181
投資その他の資産合計	903,372	905,090
固定資産合計	3,231,620	3,154,221
資産合計	9,644,784	9,128,387

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,163,248	1,719,434
短期借入金	43,736	21,336
未払法人税等	142,868	86,737
賞与引当金	130,056	163,617
製品保証引当金	4,804	4,887
工事損失引当金	1,258	377
その他	817,907	810,440
流動負債合計	3,303,878	2,806,830
固定負債		
長期借入金	46,938	36,270
役員退職慰労引当金	183,640	193,779
退職給付に係る負債	403,866	371,696
その他	22,813	15,916
固定負債合計	657,257	617,661
負債合計	3,961,136	3,424,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	329,304	329,304
資本剰余金	289,864	289,864
利益剰余金	4,991,775	5,014,306
自己株式	△200	△200
株主資本合計	5,610,743	5,633,274
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,694	146,456
退職給付に係る調整累計額	△78,790	△75,835
その他の包括利益累計額合計	72,903	70,621
純資産合計	5,683,647	5,703,895
負債純資産合計	9,644,784	9,128,387

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	4,923,133	4,870,060
売上原価	3,227,624	3,135,111
売上総利益	1,695,508	1,734,948
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	△28	83
給料及び手当	523,734	587,208
賞与引当金繰入額	64,872	68,124
退職給付費用	15,800	16,669
役員退職慰労引当金繰入額	10,555	11,511
その他	829,198	875,815
販売費及び一般管理費合計	1,444,131	1,559,412
営業利益	251,376	175,536
営業外収益		
受取利息	7	90
受取配当金	3,708	4,068
貸倒引当金戻入額	344	426
作業くず売却益	5,994	6,293
匿名組合投資利益	104,517	—
その他	5,444	5,107
営業外収益合計	120,016	15,987
営業外費用		
支払利息	566	204
その他	2,440	925
営業外費用合計	3,007	1,129
経常利益	368,385	190,394
特別損失		
固定資産除却損	215	80
減損損失	—	2,656
ゴルフ会員権評価損	250	—
特別損失合計	465	2,736
税金等調整前四半期純利益	367,920	187,657
法人税、住民税及び事業税	111,230	67,985
法人税等調整額	2,154	5,891
法人税等合計	113,384	73,876
四半期純利益	254,536	113,781
親会社株主に帰属する四半期純利益	254,536	113,781

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	254,536	113,781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,929	△5,237
退職給付に係る調整額	1,712	2,954
その他の包括利益合計	18,641	△2,282
四半期包括利益	273,178	111,498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	273,178	111,498

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	367,920	187,657
減価償却費	90,183	82,678
減損損失	—	2,656
固定資産除却損	215	80
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△344	△426
賞与引当金の増減額(△は減少)	38,637	33,561
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△71,705	10,139
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15,809	△27,923
工事損失引当金の増減額(△は減少)	560	△880
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△28	83
受取利息及び受取配当金	△3,716	△4,159
支払利息	566	204
匿名組合投資損益(△は益)	△104,517	—
ゴルフ会員権評価損	250	—
売上債権の増減額(△は増加)	744,691	1,098,597
たな卸資産の増減額(△は増加)	△224,287	△264,790
仕入債務の増減額(△は減少)	△245,386	△443,814
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,387	△61,667
その他の資産の増減額(△は増加)	△117,236	△134,948
その他の負債の増減額(△は減少)	8,316	66,100
小計	498,542	543,148
利息及び配当金の受取額	3,785	4,256
利息の支払額	△566	△204
法人税等の支払額	△104,993	△118,973
営業活動によるキャッシュ・フロー	396,768	428,226
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,979	△10,979
定期預金の払戻による収入	10,979	10,979
有形固定資産の取得による支出	△28,109	△5,487
無形固定資産の取得による支出	△7,103	△15,588
投資有価証券の売却による収入	32,234	—
匿名組合出資金の払戻による収入	226,215	—
敷金及び保証金の差入による支出	△789	△1,799
敷金及び保証金の回収による収入	2,015	2,241
保険積立金の積立による支出	△15,474	△14,888
その他	△863	△876
投資活動によるキャッシュ・フロー	208,125	△36,398
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△40,000	—
長期借入金の返済による支出	△44,738	△33,068
リース債務の返済による支出	△11,532	△8,714
配当金の支払額	△117,793	△91,185
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214,063	△132,967
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	390,829	258,860
現金及び現金同等物の期首残高	2,024,138	2,235,286
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,414,967	2,494,146

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動ドア関連	建具関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,382,758	1,221,318	4,604,076	319,056	4,923,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	7,592	7,592
計	3,382,758	1,221,318	4,604,076	326,649	4,930,726
セグメント利益 又は損失(△)	825,035	△24,534	800,500	39,046	839,547

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「駐輪システム事業」、「環境機器事業」、「セキュリティ事業」、「付帯事業」、「商品販売事業」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	800,500
「その他」の区分の利益	39,046
全社費用(注)	△592,083
棚卸資産の調整額	△14,086
その他の調整額	18,000
四半期連結損益計算書の営業利益	251,376

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動ドア関連	建具関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,440,748	1,118,026	4,558,775	311,285	4,870,060
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	7,335	7,335
計	3,440,748	1,118,026	4,558,775	318,620	4,877,396
セグメント利益 又は損失(△)	814,401	△29,174	785,226	45,624	830,851

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「駐輪システム事業」、「環境機器事業」、「セキュリティ事業」、「付帯事業」、「商品販売事業」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	785,226
「その他」の区分の利益	45,624
全社費用(注)	△648,463
棚卸資産の調整額	△24,851
その他の調整額	18,000
四半期連結損益計算書の営業利益	175,536

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。